

ビジネスセッション7 SDGs時代のサステナビリティ戦略と企業の役割

低炭素社会に貢献する日立の取り組み

2018/10/19

株式会社 日立製作所 理事
サステナビリティ推進本部 本部長

荒木 由季子

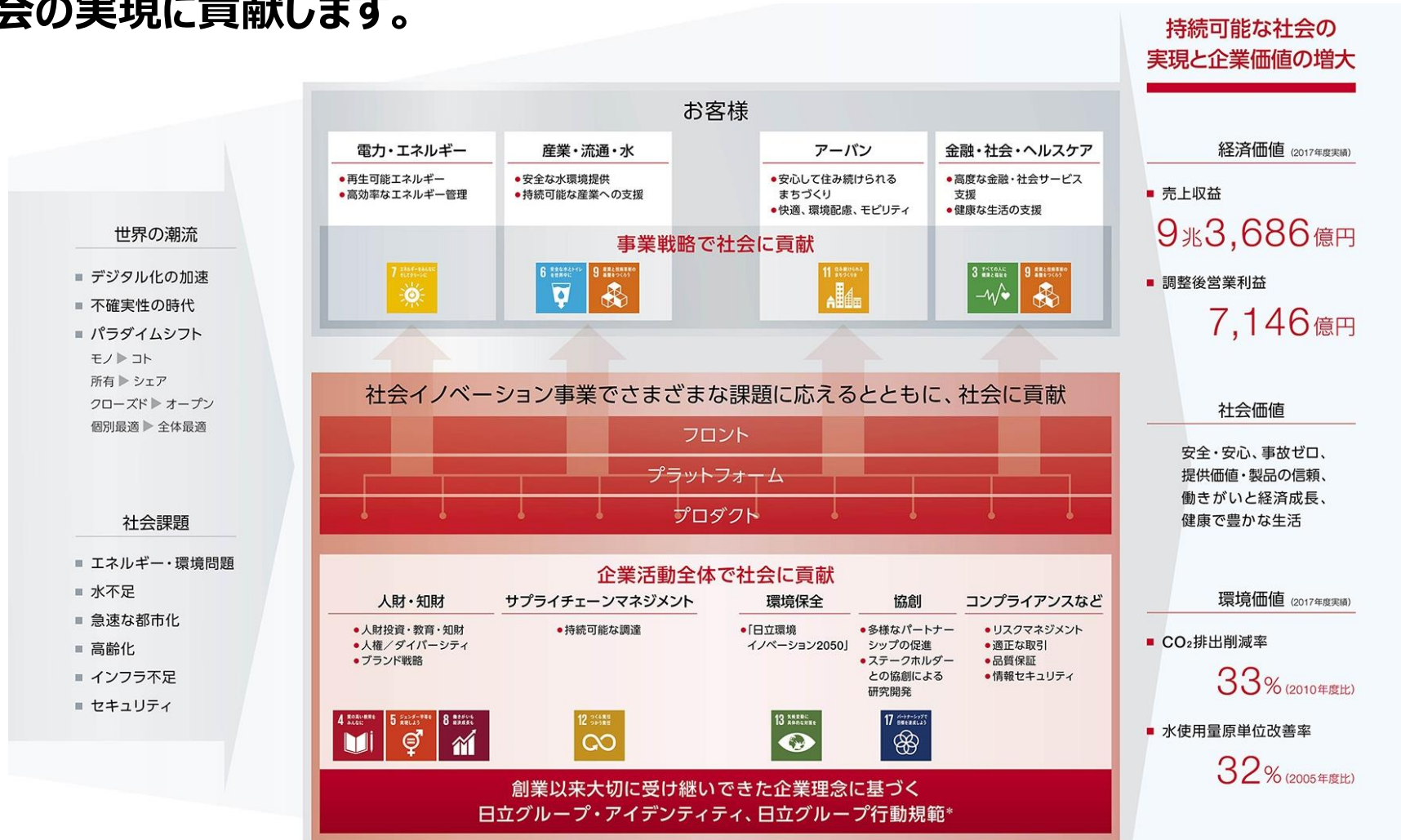
日立は責任ある企業活動と社会イノベーション事業を通じて、
社会が直面する課題に率先して応え、SDGsの達成に貢献します。



日立はSDGsのすべての目標の達成に対して
直接的もしくは間接的に貢献

2. 日立の価値創造モデル

日立は、社会イノベーション事業を通じて、さまざまな社会課題に応えることで、経済・社会・環境価値を創出し、持続可能な社会の実現に貢献します。



*グループのすべての役員、従業員が共有し、自らの行動や判断の指針としている規範(2018年4月改訂)
Webサイト: <http://www.hitachi.co.jp/about/corporate/conduct/index.html>

3. 日立の環境ビジョンと環境長期目標

環境ビジョン

日立は、ステークホルダーとの協創による
社会イノベーション事業を通じて、環境課題を解決し
生活の質の向上と持続可能な社会の両立を実現する。

日立環境イノベーション2050

低炭素社会

をめざすために

バリューチェーンを通じて
CO2排出量

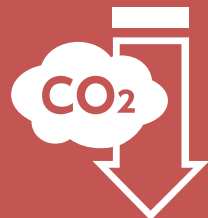
2050年度

2030年度

80%削減

50%削減

(2010年度比)



高度循環社会

をめざすために

お客さまや社会とともに
水・資源循環型
社会を構築

水・資源利用効率 2050年度

50%改善

(日立グループ内 2010年度比)



自然共生社会

をめざすために

自然資本への
インパクトの

最小化



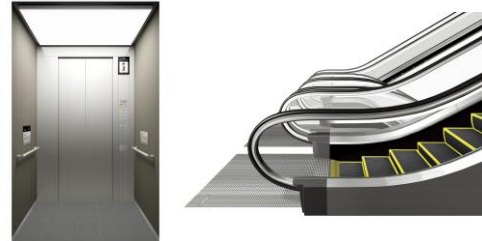
エネルギーの 低炭素化

- 非化石エネルギーシステム
 - ・ 風力発電システム
- スマートグリッド
 - ・ 分散電源ソリューション
 - ・ エネルギーマネジメント



空間の 低炭素化

- オフィス
 - ・ ビルトータルソリューション
 - ・ エレベーター
 - ・ エスカレーター
- ファクトリー
 - ・ スマートマニュファクチャリング
- 生活・エコシステム
 - ・ スマートライフ事業
 - ・ 生活家電



モビリティの 低炭素化

- 鉄道
 - ・ 運行管理・鉄道情報システム
 - ・ 鉄道車両
- 自動車
 - ・ 電動パワートレインシステム(蓄電池、モーター、インバーターほか)
 - ・ 自動車部品



革新的技術による 低炭素プロダクツ

- 産業機器
 - ・ アモルファス変圧器
 - ・ 空気圧縮機
 - ・ モーター
- 高機能材料
 - ・ 電力変圧器用アモルファス
- 金属材料
 - ・ 希土類磁石



Lumadaを基盤とするデジタルソリューション

HITACHI
Inspire the Next 